

2005/10/17

特定領域研究「膜インタフェイス」平成 17 年度公開シンポジウムのご案内

東京大学大学院薬学系研究科 嶋田一夫

特定領域研究「膜インタフェイス」平成 17 年度公開シンポジウムが下記のように行われます。今回のシンポジウムでは、岩田想 先生(Imperial College London)、Charles R. Sanders (Vanderbilt University)先生を特別講演演者として招待しております。シンポジウム参加費は無料ですので、ふるってご参加下さい。また、シンポジウム終了後、懇親会(会費 3000 円)を行いますので、こちらも合わせてご参加いただければ幸いです。

**特定研究領域「膜インタフェイス」
平成 17 年度公開シンポジウム**

日時:2006 年 1 月 13 日(金)

場所:東京大学薬学系研究棟講堂(新棟 2F 講堂)

東京都文京区本郷 7 丁目 3-1

都営学バス・竜岡門下車(御茶ノ水または上野発東大構内行き)

東京メトロ丸の内線、大江戸線、本郷 3 丁目駅下車、徒歩 10 分

9:00-9:10 領域代表挨拶
阿久津秀雄(大阪大学蛋白質研究所)

セッション:膜タンパク質を知る

9:10-9:40 Syntaxin 18 複合体:膜輸送とシグナル伝達のインターフェイス
多賀谷光男(東京薬科大学生命科学部分子生命科学科)

9:40-10:10 膜タンパク質の構造形成とタンパク質膜透過チャネル
阪口雅郎(兵庫県立大学・大学院生命理学研究科)

10:10-10:25 休憩

セッション:膜タンパク質を作る

- 10:25-10:55 ライゲーションケミストリーの展開による膜蛋白質合成法の開発
相本三郎(大阪大学蛋白質研究所)
- 10:55-11:25 膜に蛋白質を作る
上田卓也(東京大学大学院新領域創成科学研究科メディカルゲノム専攻)
- 11:25-11:55 構造生物学者を悩ます蛋白質凝集の防止
若松馨(群馬大学・工学部・生物化学工学科)

11:55-13:00 昼食

セッション:膜タンパク質を見る

- 13:00-13:30 Prediction of protein-protein interaction by co-evolutionary analysis
藤博幸(京都大学化学研究所)
- 13:30-14:00 アクアポリンファミリーの比較分子動力学シミュレーション
木寺詔紀(横浜市立大学大学院国際総合科学研究科)
- 14:00-14:15 休憩
- 14:15-14:45 NMRを用いた膜タンパク質のソフトな相互作用研究
嶋田一夫(東京大学大学院薬学系研究科)
- 14:45-15:15 Structural analysis of autotransporter proteins
J. R. H. Tame(横浜市立大学)
- 15:15-15:45 結晶を用いない単粒子解析によるイオンチャネルの構造解析
佐藤主税(産業技術総合研究所
脳神経情報研究部門 & 生物情報解析センター)

15:45-16:00 休憩

特別講演

- 16:00-16:40 Membrane Proteins: Challenges to Structural Biology
岩田想(Imperial College London)

16:40-17:20 Membrane Proteins, Folding, and Disease
Charles R. Sanders (Vanderbilt University)

17:20-17:40 総合討論

懇親会

18:00 山上会館

連絡先: 〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学大学院薬学系研究科

坂倉正義、嶋田 一夫

FAX 03-3815-6540 E.mail sakakura@mol.f.u-tokyo.ac.jp